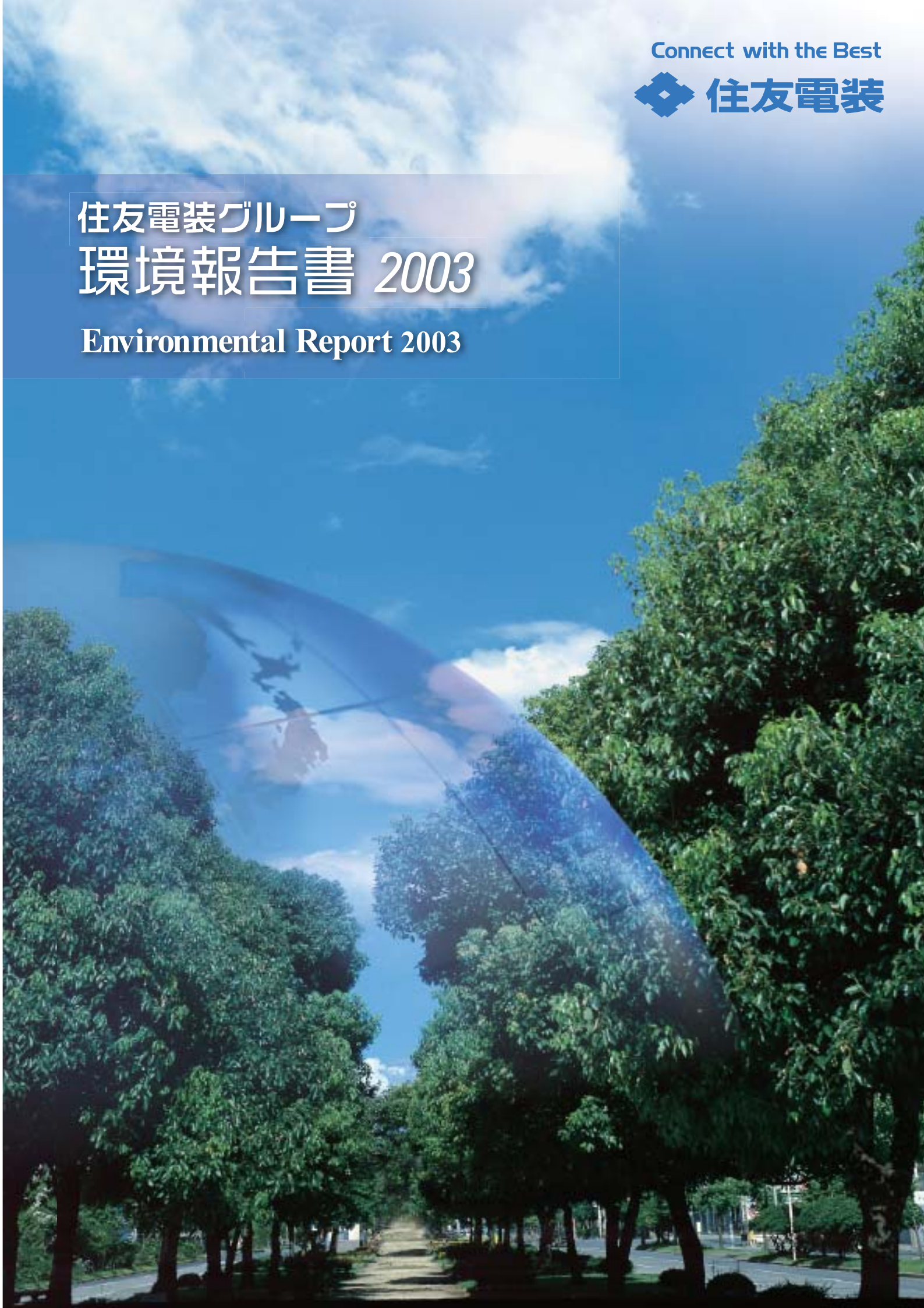


Connect with the Best



住友電装グループ  
環境報告書 2003

Environmental Report 2003



## 環境報告書2003の対象範囲

この環境報告書に記載の内容は、2002年4月1日から2003年3月31日の活動をもとに記載しています。(一部2003年度の活動内容も含んでいます。)

本報告書の報告対象範囲は、下表の当社の本社・製作所・工場・センター等及び国内グループ会社<sup>(注1)</sup>です。各サイト及び国内グループ会社に所在するの会社<sup>(注2)</sup>もその範囲で含みます。

分類	国内拠点及び国内グループ会社	環境会計	マテリアルフロー	省エネルギー	省資源リサイクル	PRTR	規制遵守
住友電装株式会社サイト	本社・四日市	●	●	●	●	●	●
	四日市物流センター	●	●	●	●	●	●
	豊田物流センター	●	●	●	●	●	●
	鈴鹿製作所	●	●	●	●	●	●
	御園	●	●	●	●	●	●
	茨城電線工場	●	●	●	●	●	●
	狭山	●	●	●	●	●	●
	茨城	●	●	●	●	●	●
	狭山物流センター	●	●	●	●	●	●
	入間物流センター	●	●	●	●	●	●
	宇都宮技術センター	●	●	●	●	●	●
	厚木技術センター	●	●	●	●	●	●
国内グループ会社	東北住電装株式会社	●	●	●	●	●	●
	山形住電装株式会社	●	●	●	●	●	●
	北陸ハーネス株式会社	●	●	●	●	●	●
	東洋ハーネス株式会社	●	●	●	●	●	●
	中国ハーネス株式会社	●	●	●	●	●	●
	九州住電装株式会社	●	●	●	●	●	●
	協立ハイパーツ株式会社	●	●	●	●	●	●
住電装プラテック株式会社	●	●	●	●	●	●	

(注1) 国内グループ会社の定義:当社持株比率が50%超で生産に従事している非上場会社

(注2) 株式会社オートネットワーク技術研究所 住友電装コンピュータシステム株式会社  
 エスディエンジニアリング株式会社 住電装ロジネット株式会社  
 住電装サービス株式会社 エスタブリュエスマネジメントサポート株式会社  
 エス ワイトラベル株式会社 住電エレクトロニクス株式会社  
 住友電装メディアテック株式会社

## CONTENTS

1~2	報告書対象範囲 ごあいさつ 環境マネジメント
3	環境マネジメントシステム概要
4	ISO14001認証取得状況
5	環境保全ビジョン
6	チャレンジエコ21と活動実績
7	環境会計
8	設計開発段階での環境配慮への取組
9~10	環境配慮設計のコンセプト、LCA
11	環境配慮型製品 環境配慮型製品の認定制度
12~13	生産・調達・物流での取組
14~15	マテリアルフロー、調達における環境配慮の取組
16~17	廃棄物・省エネルギー
18~19	ゼロエミッションへの取組 住友電装各地区の取組
20	汚染予防
21	汚染予防・PRTR 環境データ
22~24	グループ会社の環境保全への取組 コミュニケーション
25	教育啓発活動
26~27	地域とのコミュニケーション
28	環境取組の歴史
29	会社概要

## ごあいさつ

豊かな水の惑星「地球」は、私たち人類を含む様々な生物を育み、その活動を支えてきました。しかし、人類による資源消費型の経済は「地球」の浄化能力を超え、環境汚染、資源枯渇、温暖化が促進されて、人類のみならず多様な生物の存続も危うくしています。私たち及び私たちの先祖が享受した豊かな環境を次世代に引き継ぐために、一人ひとりが環境問題に取り組みねばなりません。

企業活動においても、温暖化防止、汚染物質排出防止、資源循環に継続的に取り組み、豊かな社会の実現を目指すことを基本姿勢と考えております。

住友電装グループは、「豊かな社会の実現に向けて、環境保全を積極的に配慮した事業活動を展開する」基本理念に基づき、4つの行動指針を定めると共に、ISO14001環境マネジメントシステムを全社に展開し、環境に配慮した活動を全社員が日常業務の中で行う環境経営を推進しております。

当社グループの主な事業である自動車用ワイヤーハーネスにおいては、ハロゲンフリー電線を使用したワイヤーハーネスを実用化し、廃車の際に容易に取り出せる易解体ワイヤーハーネスが2003年5月に実車に搭載され、更に、使用する部品に含まれる規制化学物質の排除・削減を進める等、環境負荷の少ない製品、資源循環型社会に適合した製品を提供しております。

事業活動においては、廃棄物の排出防止やエネルギー使用量削減を目的に、全員参加で環境保全に取り組む「全員参加のエコ活動」と埋立廃棄物ゼロの「ゼロエミッション化」活動を展開し、2003年5月には国内主要の11拠点で達成、現在拠点の拡大と廃棄物排出量削減に向けた活動を行っております。

今回の環境報告書では、これらの成果について報告しております。当社グループでは環境経営の向上を目指すための活動を継続してまいります。活動に対するご意見、ご指摘をいただければ幸いです。

住友電装株式会社 社長

下 川 忠



# 全員活動で環境負荷低減に邁進

住友電装グループは、環境保全理念を基にグループ会社を含み各地区で環境保全活動に取り組んでまいりました。特に事業活動で発生する廃棄物を資源として有効に活用し、2003年度埋立廃棄物をゼロにする「ゼロエミッション化」では、地区の実情に応じた分別の徹底、分離・分解、再資源先の探求等により国内主要11拠点において約1年前倒しで達成いたしました。更に拠点の拡大を進めております。

製品及び事業活動における環境負荷の低減を推進するために以下のテーマについてプロジェクトチームを結成し、活動しております。

1. 製品の開発・設計における環境負荷評価及び規制化学物質の削減活動
2. 再資源を含む廃棄物の総排出量の削減活動
3. CO<sub>2</sub>排出を削減する省エネルギー活動
4. 社会貢献拡大、社員意識向上の活動

また、当社の主力製品である自動車用のワイヤーハーネスを構成する電線、端子、コネクタ等について、環境負荷物質の不使用、小型・軽量化、廃車時のリサイクル性が要求されています。その中で、2002年にはハロゲンフリー電線を実用化し、加えて従来電線より細

径・軽量化を図りました。今後、更に展開・拡大を推進致します。リサイクルにおいては廃車・解体の際に容易に取り外せるワイヤーハーネス、部品の開発・製品化を行って、自動車のリサイクルに貢献しています。これら製品の研究・開発を継続し、環境負荷低減を目指した製品づくりを行ってまいります。更に、地域への貢献について事業所周辺の美化活動を毎月継続して行うことに加え、社内環境展を各地で開催し、地方自治体や周辺住民へ情報公開、地域NPO等への協力・支援を行っております。

今後とも皆様のアドバイス、ご意見を参考にして更なる活動強化を進め、全員で環境負荷の低減に邁進してまいります。



全社環境総括責任者 常務執行役員

上 田 浩 一



# 環境マネジメントシステム概要

## 環境保全理念

住友電装グループは、豊かな社会の実現に向けて、環境保全を積極的に配慮した事業活動を展開する。

## 行動指針

1. 製品の企画・開発・設計・工法・生産・物流・使用・廃棄の各段階において、環境保全技術の開発・向上に努め、生態系に及ぼす影響と資源保護に配慮した物づくりを指向する。
2. 国・地方公共団体などの環境規制を遵守することはもとより、自主的な規制により環境への負荷の低減に努める。
3. 環境監査等により、環境保全計画の達成状況と職務遂行の健全性を確認して、環境管理レベルの維持向上を図る。
4. 海外も含め住友電装グループの環境意識向上を図り、地域社会との交流を通じて、環境保全活動を推進する。

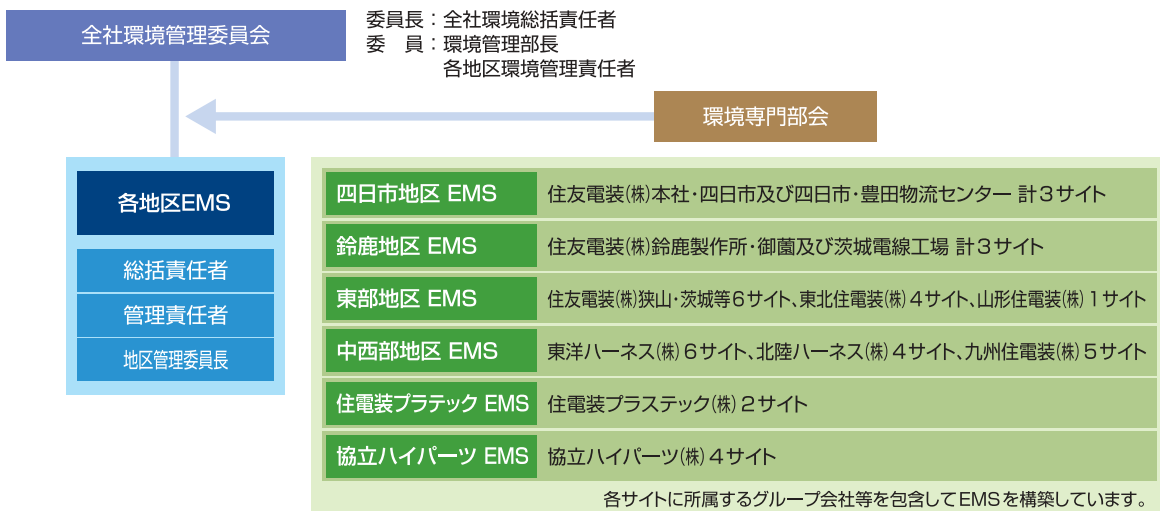
本基本規程は1995年7月1日より実施する。

## 環境保全推進体制

### 責任体制



### 環境保全推進体制





# ISO14001 認証取得状況

ISO14001の認証は、国内の住友電装及びグループ会社のサイトを事業エリアや事業内容に応じて4ブロック+2会社に分け、グループ会社を含めた統合認証方式で全サイトの認証を取得しました。(協立ハイパーツは2003年12月に認証取得予定です。)

① 本社四日市

② 鈴鹿製作所

③ 御 菌

④ 茨城電線工場

⑤ 狭 山

⑥ 茨 城

⑦ 東北住電装

⑧ 山形住電装

⑨ 北陸ハーネス

⑩ 東洋ハーネス

⑪ 九州住電装

⑫ 住電装プラテック

⑬ 協立ハイパーツ



## 海外ネットワーク



### 認証取得済

- ① Sumi Motherson Innovative Engineering, Ltd. (インド)
- ② Sumitomo Electric Wiring Systems (Europe) Ltd. (イギリス)
- ③ Sumitomo Electric Wiring Systems (Thailand) Limited (タイ)
- ④ 香港電装有限公司 (中国)
- ⑤ Sumidenso do Brasil Industrias Eletricas Ltda. Mateus Leme (ブラジル)
- ⑥ International Wiring Systems (Phils.) Corporation (フィリピン)
- ⑦ Motherson Sumi Systems Ltd. (インド)
- ⑧ Sumitomo Electric Wiring Systems, Inc. (米国)

### 認証取得予定

- Sumidenso do Brasil Industrias Eletricas Ltda. Pouso Alegre (ブラジル)
- SUMI-HANEL Wiring Systems Co., Ltd. (ベトナム)
- P.T. Sumi Indo Wiring Systems (インドネシア)



# 環境保全ビジョン

環境保全を積極的に配慮した事業活動を展開する。

## 3R: Reduce、Reuse、Recycle (発生抑制) (再使用) (再利用)



### 全員参加のエコ活動

- OA推進によるペーパーレス化
- 裏紙使用の推進
- 省エネルギー診断実施
- 生産設備の効率的な使用
- タイマー・センサー活用
- 空調の適温管理
- エコ活動による廃棄物削減
- 納入梱包材等の再利用
- 製品余剰接着品の削減

- リユースの推進
- LCAの活用
- 環境配慮型製品の開発
- グリーン購入品の推進
- リサイクル製品の活用
- 汚染予防設備の導入
- 植樹活動支援
- 緑地帯の造成及び整備
- 環境展示会や他社見学による啓発活動



# 住友電装グループ環境行動計画(チャレンジエコ21)

住友電装グループは2003年度に、2003年度から2007年度までの環境行動計画を策定しました。

この計画は住友電装グループ環境ビジョンに基づき、開発・設計、調達、製造、物流及び使用・回収の各段階での環境負荷の削減目標と環境経営の達成目標を定めたものです。

住友電装グループ環境行動計画(チャレンジエコ21)			2003年度目標	2007年度目標
製 造	地球温暖化防止 廃棄物	CO <sub>2</sub> 排出量削減 廃棄物総排出量削減	'90対比 4%削減 '01対比 2%削減	'90対比 7%削減 '01対比 10%削減 年次 2%削減 鉛化合物・クロム化合物全廃
	化学物質	PRTR指定物質の排出・移動量の削減	削減計画策定	
調 達	グリーン調達 化学物質の削減	資材購入先意識調査 化学物質調査の推進	調達基準の策定と購入先評価 調達基準への織り込み	2005年までに購入先選定として運用定着 2005年までに購入先選定に運用
	化学物質	化学物質の使用廃止、制限	WH <sup>(*)</sup> 部品の鉛・六価クロム廃止 (ハンダ除く)	設計管理における運用の定着
製 品 (開発・設計) (使用・回収)	製品開発 LCA 3R	環境配慮型製品の基準策定と認定 LCA計算と分析 リサイクルし易さの向上	認定基準策定と認定委員会発足 試算による設計管理への織り込み 易解体WH製品化	認定の運用 年次 1件以上 製品開発での評価項目として定着 2005年までにリサイクル性評価の設計システム織り込み
	物 流	地球温暖化防止 3R	輸送によるCO <sub>2</sub> 発生量削減 容器の再使用化推進	モーダルミックス推進 ポリケースの活用拡大

(\*1)WHはワイヤーハーネスの略



## 環境保全2002年度計画と活動実績

分類	項目	取組地区	2002年度計画		取組内容
			目標	取組結果	
エネルギー	電力使用削減	四日市地区	1999年度比4%削減	4.6%増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ設備への更新</li> <li>省エネ診断の活用</li> <li>共用施設の集約化</li> <li>空調温度の厳守</li> <li>コンプレッサの運転管理</li> </ul>
		鈴鹿地区		2.5%増加	
		東部地区		33.0%減少	
資源循環	廃棄物削減	四日市地区	廃棄物の埋立率10%以下 <sup>(*)2</sup>	2003年3月11サイトで埋立率"0"を達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立物の分別とリサイクル</li> <li>設備、治工具の分解、分別</li> <li>設備、備品の再利用</li> <li>リサイクル先の調査、選定</li> </ul>
		鈴鹿地区			
		東部地区			
	紙使用量削減	四日市地区	2001年度比8%削減	2.7%増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議等でプロジェクター使用</li> <li>両面コピー、裏紙の使用</li> <li>電子メール等の活用</li> <li>記録への電子媒体の活用</li> <li>紙資料の減少</li> </ul>
		鈴鹿地区	1999年度比12%削減	23.0%増加	
		東部地区	1998年度比10%削減	7.6%減少	
	製造ロス削減	東部地区	1998年度比同等以下	6.3%増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産システム/設備改善</li> <li>POPシステムの改善</li> </ul>
余剰品廃却削減					
グリーン購入	四日市・鈴鹿・東部地区	他購入品の購入基準作成	消耗品のグリーン調達に関する基準作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境配慮型製品導入の基準織り込み</li> </ul>	
					東部地区
有害物	ハロゲンフリー化	四日市・鈴鹿・東部地区	製品の開発設計時に環境負荷物質を管理する仕組みの構築	仕入先への調査実施及び環境負荷物質管理システムに導入	環境負荷物質の特定データ入力
	緊急時予防処置	四日市・鈴鹿・東部地区	廃油等の緊急時の流出予防	流出無し	日常管理と緊急時のテスト実施
	PRTR	四日市・鈴鹿・東部地区	PRTR調査、届出	PRTR調査及び届出完了	調達量、使用量の調査及び排出量の算定
	排水基準の遵守及び緊急時の予防	四日市地区	排水基準の遵守及び緊急時の流出予防	基準内及び流出無し	排水検査データの確認及び緊急事態の想定と訓練実施
教育他	内部監査員の養成	四日市地区	内部監査能力の向上	13名養成	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部監査員教育の実施</li> <li>内部監査事前・事後会議によるレベル向上</li> <li>内部監査地区間相互実施によるレベル向上</li> </ul>
		鈴鹿地区		10名養成	
		東部地区		23名養成	
周辺地域に配慮した事業活動	四日市・鈴鹿・東部地区	周辺地域に配慮した事業活動実施	周辺清掃・駐車場等美化 環境展への地方自治体及び近隣自治会等招待	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺清掃・駐車場美化</li> <li>環境展へ地方自治体及び近隣自治会招待</li> <li>環境フェア等への出展</li> </ul>	

(\*2) 埋立率 = 埋立廃棄物量 / (廃棄物量 + 再資源化物量)



設備投資、経費、人件費とその効果を環境省ガイドラインに基づき集計しました。

(単位 千円)

分類	2002年度実績		主な取組内容
	投資	費用	
公害防止コスト	51,110	28,251	排水監視装置・廃水処理装置増設、排ガス・排水等測定
地球環境保全コスト	134,519	6,657	照明・空調改善、デマンド制御改善、省エネ診断実施
資源循環コスト	71,419	151,543	ハロゲンフリー電線対応設備改善、廃棄物処理費用
上・下流コスト	4,500	22,691	ダンボール容器通い箱化、プラスチックリール化
管理活動コスト	10,708	253,267	環境管理活動、EMS構築維持、緑地整備・管理
研究開発コスト	38,054	45,900	ハロゲンフリー電線試験装置、化学物質管理システム構築
社会活動コスト	0	658	環境フェア出展、環境NPO会費等
環境損傷対応コスト	0	0	
計	310,310	508,967	

(単位 千円)

分類	2003年度予算		主な取組内容
	投資	費用	
公害防止コスト	43,000	32,161	排水浄化槽改善、騒音対策、排ガス・排水等測定
地球環境保全コスト	268,800	4,300	コージェネ関連、コンプレッサ改善、太陽光発電、ガスエアコン改善
資源循環コスト	43,800	156,059	廃棄物保管庫設置、粉砕機設置、廃棄物処理費用
上・下流コスト	30,000	33,734	ダンボール容器通い箱化、プラスチックリール化
管理活動コスト	81,700	253,794	緑地整備、環境管理活動、EMS構築維持
研究開発コスト	20,000	47,900	軽量化対応電線撚線機、LCAシステム・環境対応設計構築
社会活動コスト	0	669	環境フェア出展、環境NPO会費及び寄付
環境損傷対応コスト	0	0	
計	487,300	528,617	

※前提条件

- a. 投資、費用は環境保全活動を主目的にしたものに限定
- b. 減価償却費は投資と二重計上になるため含まない
- c. 効果額は、計算根拠のあるものに限定

### ●環境保全効果 2002年度

(単位 千円/年)

分類	経済効果	内容
公害防止コストに対応する効果	—	
地球環境保全コストに対応する効果	26,489	空調・照明器具の省エネルギー改良、生産設備の省エネルギー改良
資源循環コストに対応する効果	313,511	不要物処理費用削減、リサイクル有価売却
上・下流コストに対応する効果	20,210	ダンボール廃止による効果
管理活動コストに対応する効果	—	
研究開発コストに対応する効果	—	
社会活動コストに対応する効果	—	
環境損傷対応コストに対応する効果	—	
計	360,210	

### ●環境指標

売上げ高当りの環境負荷総量を環境保全活動の指標として把握しています。

(単位 トン/億円)

項目	指標	
	2001年度	2002年度
環境負荷総量(CO <sub>2</sub> )/売上高	5.14	4.75
環境負荷総量(廃棄物量)/売上高	0.56	0.39

### ●環境会計情報に係る範囲

- ・対象期間  
2002年度
- ・集計範囲  
見返しページの環境報告書範囲2003の対象範囲による



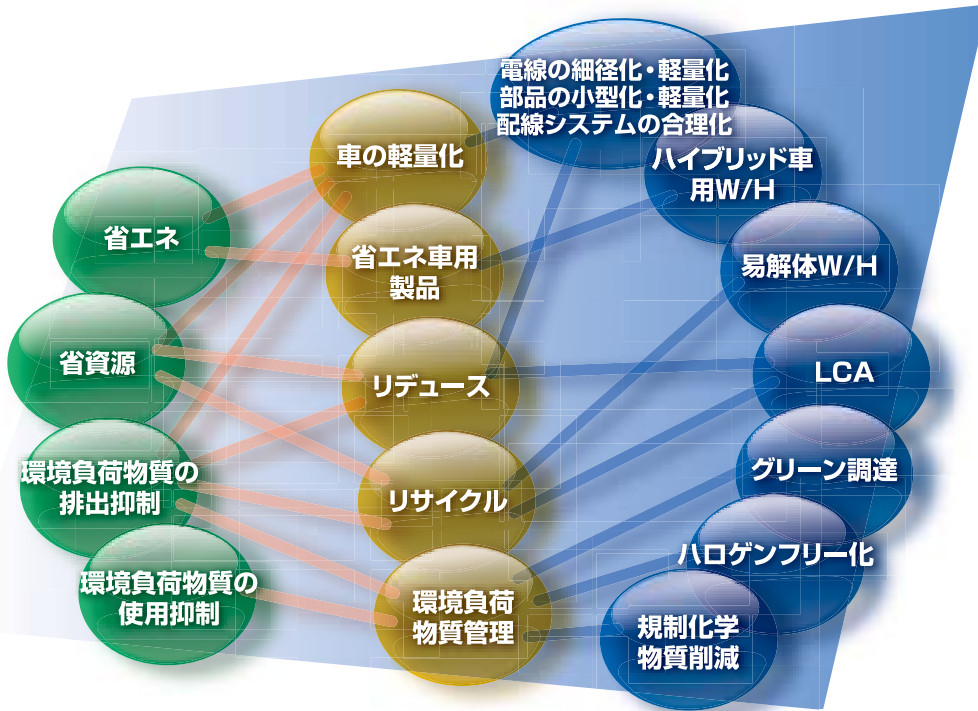
# 設計・開発段階での環境配慮への取組

## 環境配慮設計のコンセプト

製品が環境に与える影響は製品の設計・開発段階でほとんど決まってしまうと言っても過言ではありません。住友電装グループでは、エネルギーの有効活用（省エネ）、資源の有効活用（省資源）、環境負荷物質の使用・排出抑制に配慮して製品

の設計・開発を進めています。

当社は主として自動車用ワイヤーハーネス及び電子部品を生産していますが、設計・開発段階での取組のキーワードを下表に示します。



## LCA(ライフサイクルアセスメント)

当社製品の環境負荷を定量的に把握するために、LCAの導入を進めています。

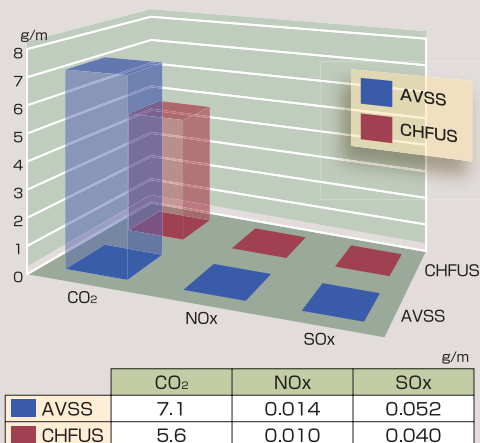
社団法人 産業環境管理協会のソフトを用い、従来の自動車用ビニル絶縁電線（AVSS）とハロゲンフリー電線（CHFUS）及び、従来のコネクタと小型化コネクタの製造段階までの環境負荷を定量的に比較しました。なお、自動車用電線については、導体についても従来のJASO規格に対し、ハロゲ

ンフリー電線は、ISO規格を採用し電線の細線化を図っています。

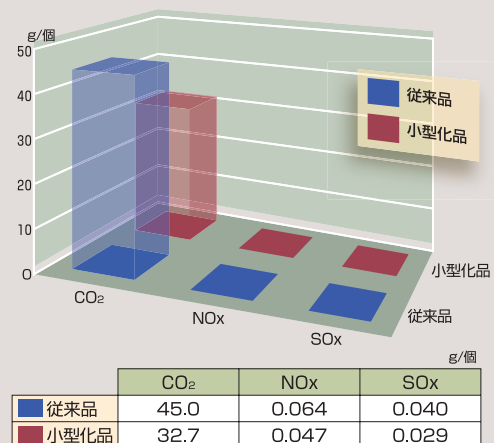
その結果、自動車用電線については約20%、コネクタについては約30%の環境負荷低減効果を定量的に把握することが出来ました。

今後も継続して製品評価へのLCA活用を推進し、製品の環境負荷低減に役立てていきます。

自動車用電線のLCA評価結果



コネクタハウジングのLCA評価結果



## 環境配慮型製品

### 環境配慮保護材

当社は、自動車用電線のみではなく、電線をワイヤーハーネス化する場合のテープ、チューブ、シート、コルゲートチューブについても脱PVC化やハロゲンフリー化を進めています。

#### 従来品

##### PVC製品

ベース材に塩素を含有  
難燃剤にハロゲンを含有

- ・テープ
- ・チューブ
- ・シート

##### PP・PA製品

難燃剤にハロゲンを含有  
・コルゲートチューブ

#### 環境配慮品

##### 脱PVC

ベース材にオレフィン系  
材料を使用

配合：オレフィン系基材＋  
臭素系難燃剤

##### ハロゲンフリー

ベース材および難燃剤に  
ハロゲンを全く含まない

配合：オレフィン系基材＋  
無機系難燃剤  
自主目標：'05年以降



### 保護材の種類

- テープ  
ワイヤーハーネスにおける電線の分岐・結束用。片面に粘着性を持たせている。
- シート  
ワイヤーハーネスの幹線部、分岐部の外傷防止用
- チューブ  
ワイヤーハーネスの保護管
- コルゲートチューブ  
フレキシブル性を持たせたワイヤーハーネスの保護管

### コネクタの小型化・軽量化



従来品

新規品

当社は、ワイヤーハーネスの軽量化や配策スペースの削減のため、コネクタの小型化・軽量化を進めています。

従来品（040型）に対し、新規品（025型）は約45%のスペース削減と約30%の軽量化を達成しています。

### 自動車用ハロゲンフリー電線

自動車の環境対策の一環としてISOハロゲンフリー電線（以下HF電線）を開発しています。

HF電線の被覆材は、基本的にはポリオレフィン系樹脂を、難燃剤には金属水酸化物を使用することで、燃焼時には金属化合物から水（H<sub>2</sub>O）が発生し、吸熱で消炎する難燃機構となっています。

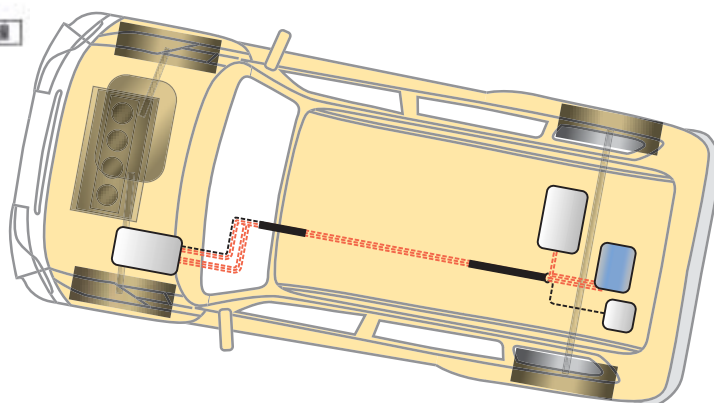
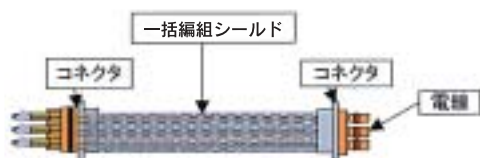
また、HF電線はハロゲン化合物を全く含有しないため、燃焼時にハロゲン化ガスの発生もありません。

回収・リサイクルの処理に於いて燃焼処理（サーマルリサイクル）が可能となり、埋立ダストの減容化も図れます。さらに、HF電線は、国際規格であるISO規格に整合しており、従来品より細径化（約20%）を図っています。

## ハイブリッド車用ワイヤーハーネス

当社はハイブリッド車に必要なモータの動力回路用大サイズ導体ワイヤーハーネスを開発済みです。

各構成部品はハロゲンフリー化を図り、また近傍の制御回路に電磁的ノイズを与えないようにするため、加工性も配慮した一括編組シールドを採用しています。



ハイブリッド車用ワイヤーハーネス

## 易解体ワイヤーハーネス

### 易解体リサイクルベルト

使用済み自動車からワイヤーハーネスを容易に取り外し出来るよう、予め、易解体用リサイクルベルトを組み込む事により車両解体時におけるワイヤーハーネスの取り外し時間の短縮及び回収量のアップが図れます。



車を解体するときにベルトに引っかけます。

易解体用リサイクルベルト



## 易解体アース端子

ワイヤーハーネスの回収効率を高める為、ワイヤーハーネス回収時のアース端子首部の解体荷重を500N以下にコントロール

させ、車両からのワイヤーハーネス取り外しの容易性を向上させています。

圧着時



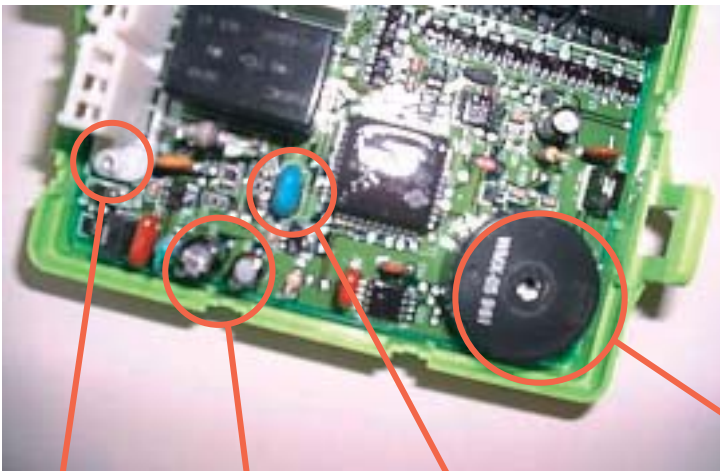
解体時



## 製品含有規制化学物質の削減

当社は、PRTR法や化審法、EUのELV指令やRoHS指令等で規制の化学物質の使用削減を進めており、既に、鉛、カドミウム、六価クロム、水銀については一部の部品を除いて基本的に使用を禁止しています。

また、その他の規制化学物質についても、削減の自主基準を策定中であり、可能な限りの早期な削減、代替化を推進していきます。



ECU（車載コンピュータ）に使用している部品についても環境負荷を軽減するための工夫を行っています。なお使用しているハンダの鉛フリー化も現在検討中です。

六価クロムフリーネジ  
鉛フリーコンデンサ  
鉛フリーの電子部品

カドミウムフリーの印字インク

## 環境配慮型製品の認定制度

当社は、さらに、環境に配慮した製品開発の推進を図るために、環境配慮型製品の認定制度の構築を進めています。認定基準はISO14021 環境ラベル及び宣言—自己宣言による

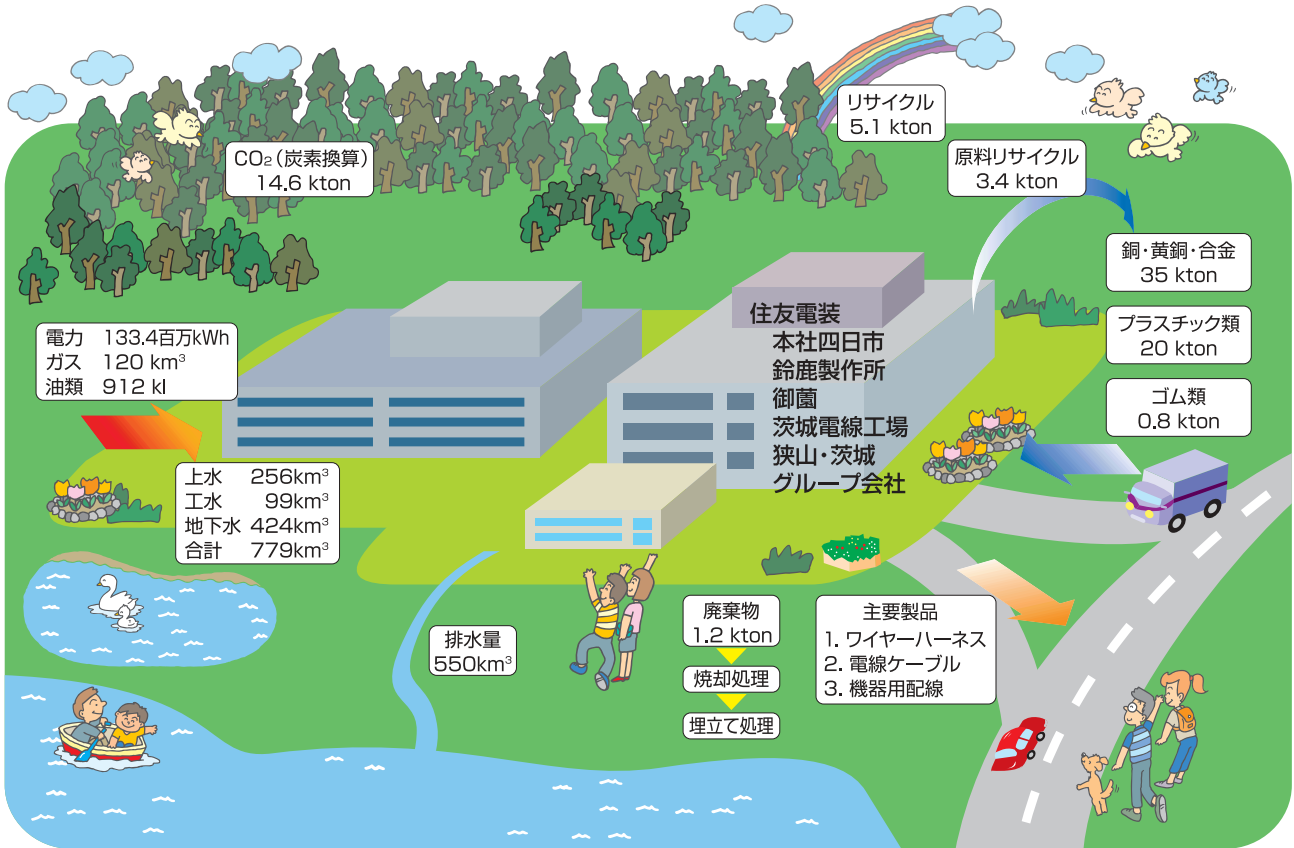
環境主張（タイプII環境ラベル表示）に基づいて設定し、運用する計画です。



# 調達・生産・物流での取組

## 生産

### ●マテリアルフロー図(2002年度)



対象範囲  
見返しページの環境報告書2003の対象範囲による

## 調達・物流

### ●材料・部品の調達における環境配慮の取組

当社は、これまで文具・事務用品などのグリーン購入を進めてきましたが、製品に使用する原材料や部品についてもグリーン調達を進めています。

グリーン調達

W/H用 部品、原材料

グリーン購入

文具・事務用品  
事務・OA機器

## ●材料・部品の調達における環境配慮の取組

### グリーン購入

「環境管理基本規程」に定める「環境保全理念」を実現するために、業務上使用する文具・事務用品及び事務機器等のグリーン購入に関する規程を1999年度に制定し、エコマーク商品等の優先的購入を進めています。

### グリーン調達

製品に含まれる環境負荷物質の低減のため、製品に使用する原材料や部品について、含まれる環境負荷物質の少ないものを優先して購入することを進めています。

また、その購入基準を明確にするために、現在、「グリーン調達ガイドライン」の作成を推進中です。調達先の選定に当たっては、調達先の環境マネジメントシステムの構築状況と、規制物質の含有の有無から判断する計画です。

主な調達先についてアンケート等で調査し、必要な所には、支援を進めます。

## ●物流における取組

物流における二酸化炭素発生量の抑制、排ガス等による環境負荷低減を念頭に、物流合理化に取り組んでいます。積載効率の向上、輸送経路の最適化、物流センターの整備、GPSを使った車両配送システム（一目瞭然システム）による効率化を行っています。

## ●グリーン購入実績

分類	切替率
コピー用紙	100%
文具類	97%

## ●一目瞭然システム



出荷

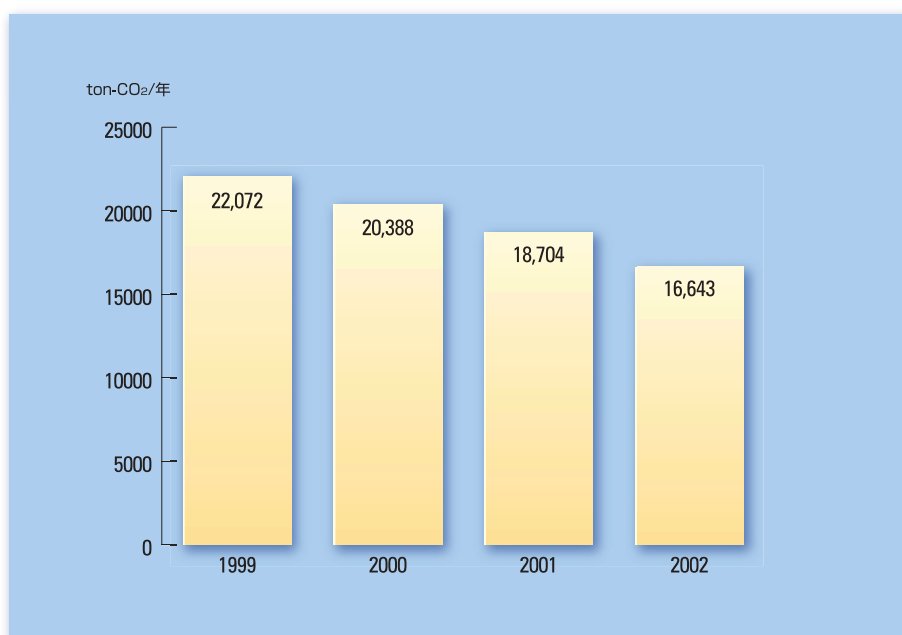
データ入力



情報表示



## ●輸送における二酸化炭素排出量（専用便）





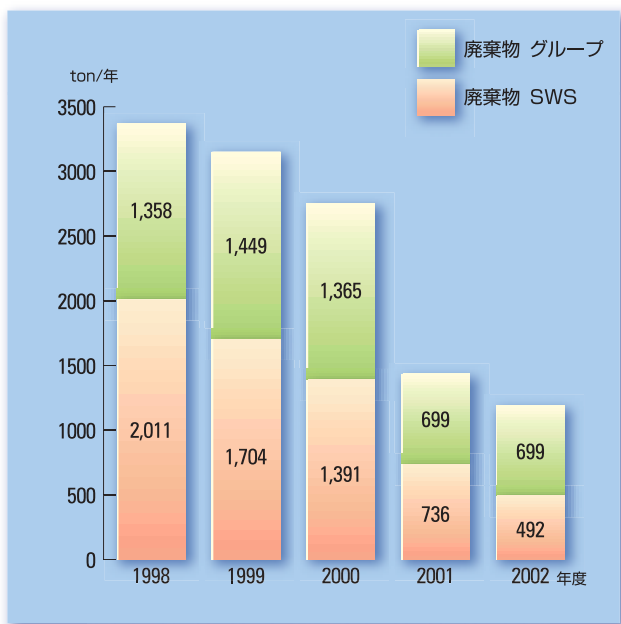
# 廃棄物・省エネルギー

## 廃棄物/再資源化物

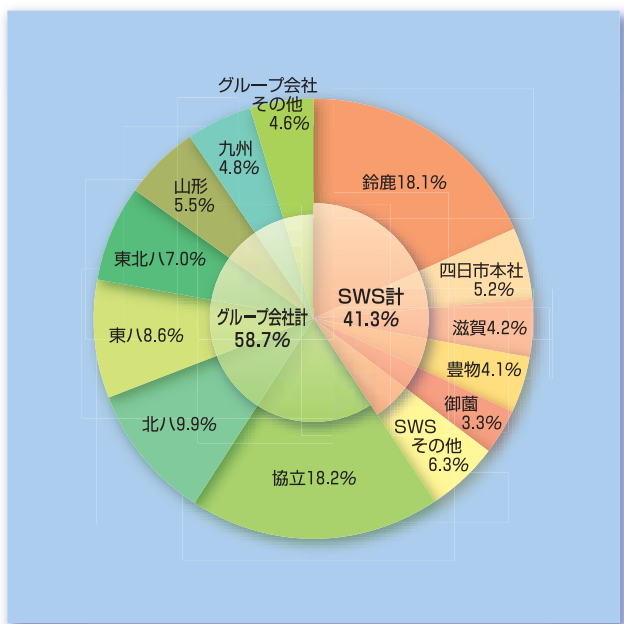
燃やす物、埋め立てる物、後処理の必要な物などの廃棄物について、発生抑制と分別・解体によりリサイクル出来るよう取り組んでいます。

2003年5月に住友電装株式会社11サイトでゼロ・エミッション（埋立廃棄物ゼロ）を達成しました。

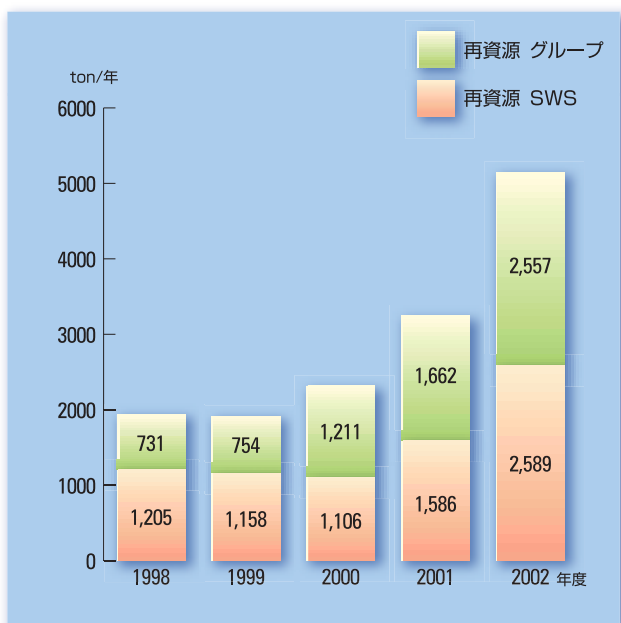
### ● 廃棄物の推移



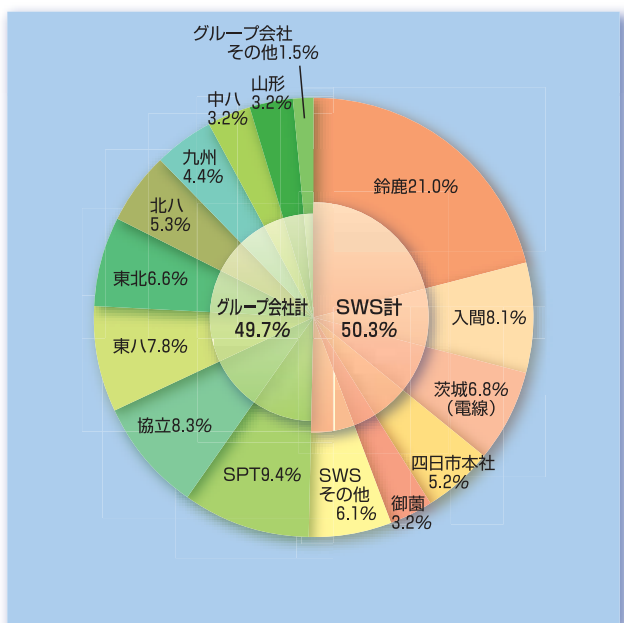
### ● 廃棄物の事業所別比率 (2002年度)



### ● 再資源化物の推移



### ● 再資源化物の事業所別比率 (2002年度)





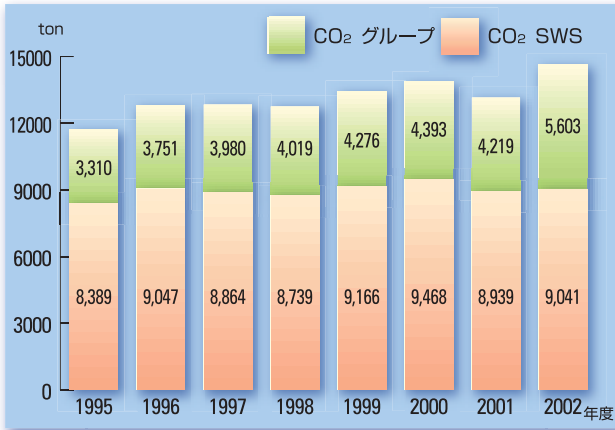
## 省エネルギー

事業活動から発生する二酸化炭素排出削減のため電気エネルギーの削減目標を掲げ、1999年度比で2003年到達で6%減に向け積極的に地球温暖化防止に取り組んでいます。

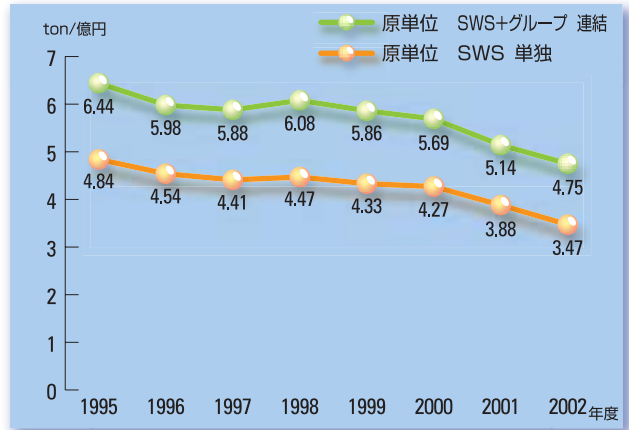
### 省エネルギーの考え方

- ①無駄の排除→漏れ、圧低減、照明
- ②機器の更新
- ③その他→熱回収、省エネ機器

### ●CO<sub>2</sub>排出量の推移(炭素換算)



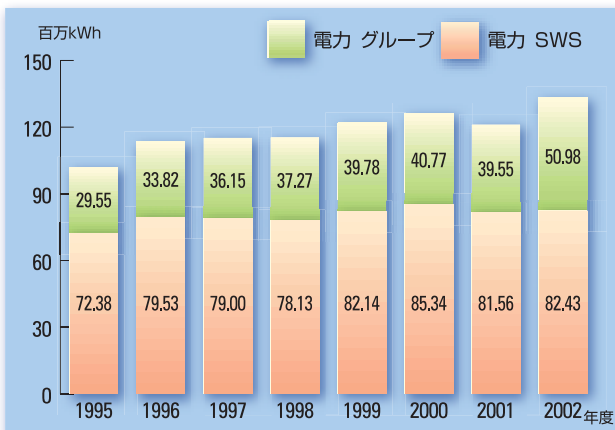
### ●CO<sub>2</sub> 売上原単位の推移



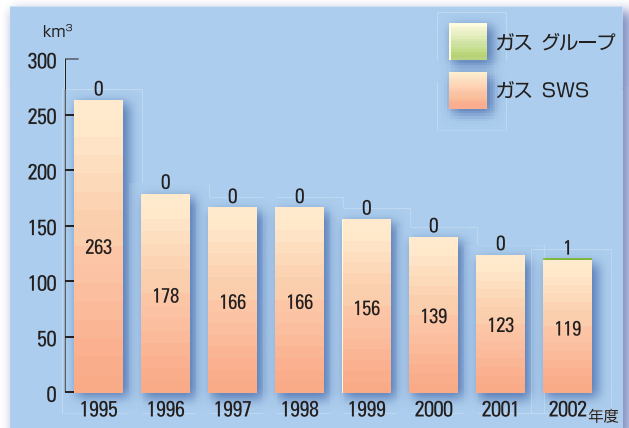
## 使用実績

省エネルギーは、蛍光灯・エアコンのインバータ化、温度管理等に取り組んできました。さらに省エネ診断等を行いエネルギー使用の効率化を図って、使用エネルギーの低減化に取り組んでいます。

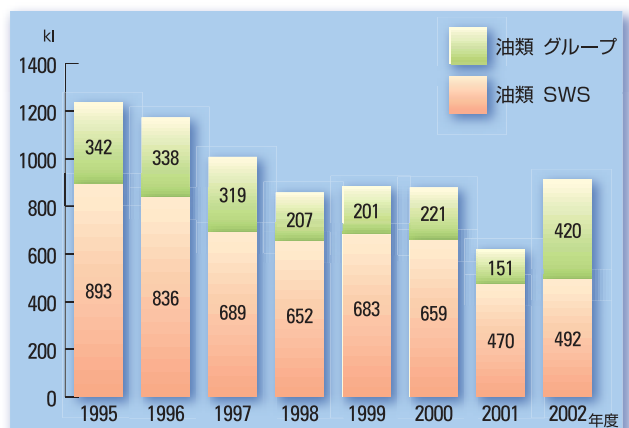
### ●電力使用量の推移



### ●ガス使用量の推移



### ●油類使用量の推移



注. 2002年度から協立ハイパーツ株式会社を加えました。



# ゼロエミッションへの取組

## ゼロエミッションへの取り組み

### 「埋立廃棄物ゼロ化」までの活動経緯

#### ① 環境行動目標 '01/4

「ゼロエミッション化」 2003年度末までに産業廃棄物（埋立）ゼロを目指すという目標を定めました。

#### ② タスクチーム発足 '02/4

- ・目標を1年先取りすることを決定しました。
- ・発生する廃棄物の内容調査を行いました。

#### ③ 埋立廃棄物毎のリサイクル計画の立案

- ・リサイクル先の探索、調査を行い一つ一つの方策を決定しました。

#### ④ 廃棄物区分表の変更

- ・廃棄物の分別をリサイクルの進行に合わせ30種類以上に細分化しました。
- ・分別方法をルール化し、環境ニュースを各部署に配付し徹底を図りました。
- ・各資源分別ステーションレイアウトを区分に合わせ変更しました。



#### ⑤ 職場巡回・資源分別ステーション立会

- ・エコクラブによる巡回、立会チェックを行い徹底した分別指導を行いました。



#### ⑥ 順次リサイクル業者へ

- ・分別不明な物入れ「わかりませんコーナー」を設置しました。



#### ⑦ 埋立廃棄物「ゼロ」を達成

環境行動目標の一つとして事業活動で発生する産業廃棄物（埋立）を「ゼロ」にする「ゼロエミッション化」の実現に向け、分別の徹底、分離、分解、再資源先の探求など、廃棄物一つ一つの再資源化に取り組んできました。特に分別の徹底では、環境マネジメントシステムの活動を通じて、廃棄物を30種類以上に細分化し、各職場及び資源分別ステーションへの定期的な巡回指導により分別の浸透を図ってきました。

これらの活動により埋立廃棄物を排出しないシステムを確立して、住友電装の主要な11サイトにおいて「3ヶ月以上埋立廃棄物排出ゼロ」を記録し分別の区分から「埋立」の分類を無くし、「ゼロエミッション」を達成しました。

今後も、ゼロエミッションの継続と共に総廃棄物量をより少なくするため、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に積極的に取り組んでいきます。

## リサイクル例

### ● 塩ビ類を除く廃プラスチック類

廃棄物の埋立する物の中から塩ビ類を除く廃プラスチック類を分別し、固形燃料（RPF）としてサーマルリサイクル化をしました。



圧縮された廃プラ類



一般廃棄物  
コルゲートチューブ  
コネクタハウジング等



固形燃料（RPF）  
Refuse Paper & Plastic Fuel

廃プラスチックと産業系古紙を原料とした高カロリーの高固形燃料です。

### 塩ビ・ゴム類

RPFに適さない塩ビ類、ゴム類等は発電装置をそなえ排ガス対策のされた焼却炉でサーマルリサイクル化をしました。

塩ビ類



ゴム類



### 異種混合物

金属、木、プラスチックの混合した物を出来るだけ分別、分解をしますが、出来ない物については製鉄原料としてリサイクル化をしたり、粉碎後分別してサーマル及びマテリアルリサイクルをしています。



粉碎前の異種混合物の例

### OA機器

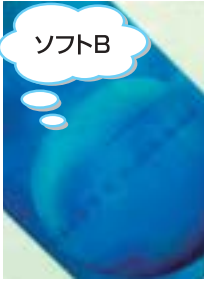
不要となったパソコンはリサイクル業者を通じて売却（リユース）することにしました。



不要パソコン



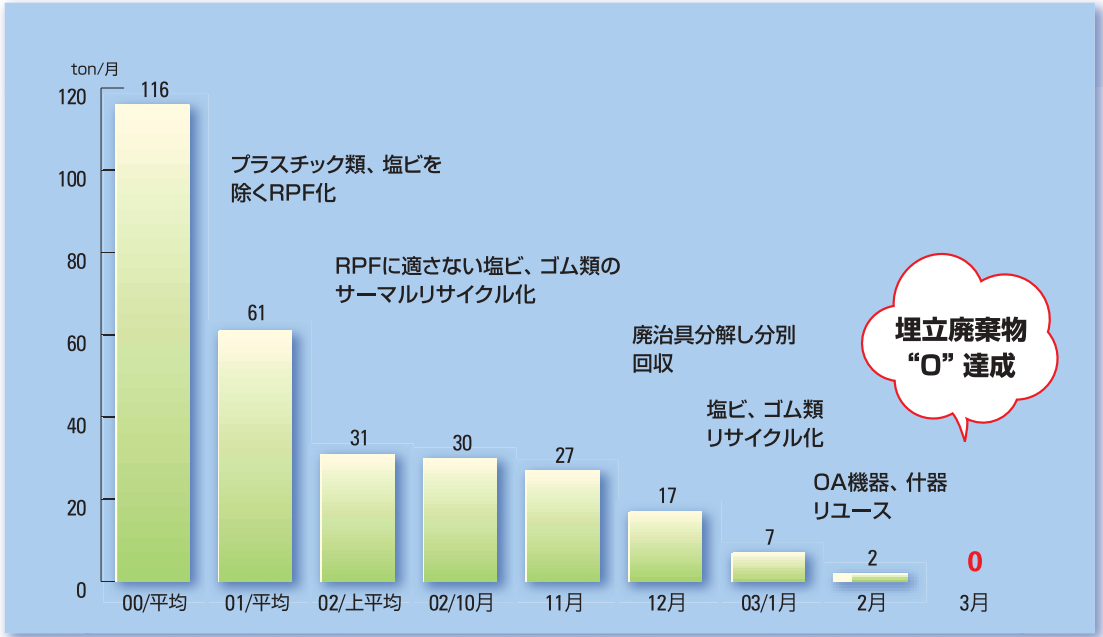
データ消去ソフト



確実にデータ消去するためラベル添付することにしました



### ●埋立廃棄物の推移（住友電装株式会社11サイト）





# 住友電装各地区の取組

各地区では、地区委員会・分科会及び省エネルギー、3R(リデュース・リユース・リサイクル)、エコクラブの専門部会活動を行い、環境保全に取り組んでいます。

## 省エネルギー

### 取組

総エネルギー使用量の70%を占める生産設備に関して、省エネ診断等によるエネルギー使用の効率化

エアコン／照明インバータ化、省エネ巡回活動(夏期・冬期)、照明キャノピーSW化、エコアイス冷房、CPU電源OFF(離席時)



人感知センサーを取付けて点灯、消灯を自動化



空調にタイマーをセットし、必要な時間以外自動的に停止

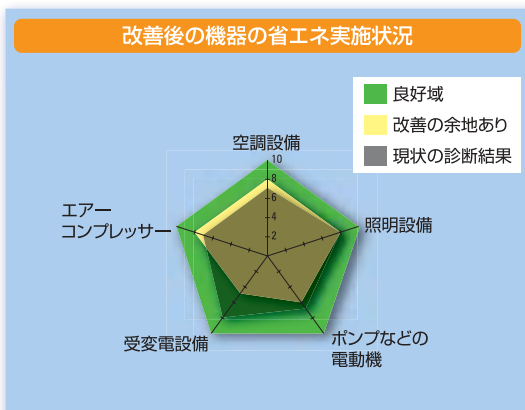
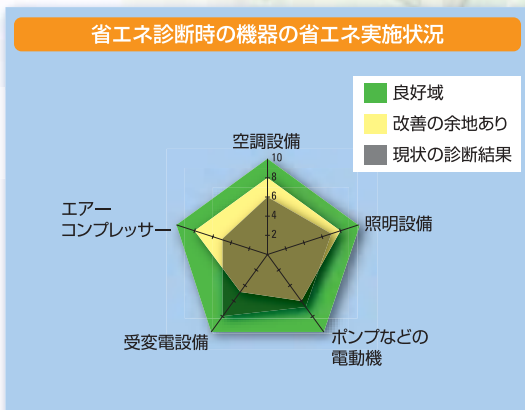


コンプレッサーは、使用条件に合わせ運転の管理、統合化およびインバータ最新機種へ更新



夏期・冬期に省エネ巡回を実施し、室内が適温にコントロールされているかをチェック

### ●省エネ診断による改善例



## 3R (リデュース・リユース・リサイクル)

### 取組

ゼロエミッション（埋立廃棄物ゼロ）を達成しましたが、廃棄物の発生が無くなったわけではありません。今後は3R（リデュース、リユース、リサイクル）を推進するために専門部会を立ち上げました。



使用済みのユニフォームは、サーマルリサイクルへ



ペットボトルをリサイクルした繊維で作ったユニフォーム（冬服）



ペットボトルをリサイクルした繊維で作ったユニフォーム（夏服）

## エコクラブ

各地区のエコクラブでは、毎月各職場の委員が集まり、廃棄物の分別状況の巡視・確認を行い、正しい分別指導を行っています。

その他の活動として他社見学会を定期で行い、参考とすると共に各委員の意識向上に努めています。





# 汚染予防

周辺地域への環境保全を良好に保つため、大気・排水・騒音・振動・悪臭などの環境評価を行い、環境負荷物質の流出防止、更に脱臭装置による悪臭の予防等の改善を実施しています。

## 目標

法規制の遵守  
環境・公害事故の発生防止

## 取り組み状況

大気汚染防止；排出ガスの監視  
水質汚濁防止；排水の監視

## ●公害防止装置

従来、端子製造工程ではジクロロメタンを洗浄剤として使用していましたが、ジクロロメタンの人や環境への影響を考慮して使用廃止を検討してきました。そして、新しい洗浄方法を開発することにより、環境負荷の少ない洗浄剤が使用可能となり、ジクロロメタンを全廃しました。



ジクロロメタン洗浄装置



新洗浄装置

## ●土壌汚染の調査と結果

住友電装グループの日本国内の塩素系有機溶剤及び重金属の使用履歴のあるサイトについて調査を2002年5月までに完了し、汚染の無いことを確認しています。

### 調査対象サイト

住友電装株式会社本社、御園及び鈴鹿製作所、住電装プラテック株式会社本社

# PRTR

## ●2002年度環境負荷物質の排出・移動状況 (PRTR法)

(取扱量が年間0.1t以上の物質のデータを記載)  
(単位ton)

	第一種指定化学物質	大気	水域	土壌	廃棄物	下水道
本社・四日市	ニッケル	0.00	0.00	0.00	0.20	0.10
	ニッケル化合物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04
	鉛及びその化合物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
鈴鹿製作所	アンチモン及びその化合物	0.00	0.00	0.00	2.43	0.00
	キシレン	0.25	0.00	0.00	0.13	0.00
	六価クロム化合物	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00
	クロロホルム	0.01	0.00	0.00	0.37	0.00
	o-ジクロロベンゼン	0.00	0.00	0.00	0.16	0.00
	トルエン	0.92	0.00	0.00	0.61	0.00
	鉛及びその化合物	0.00	0.00	0.00	1.28	0.00
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.00	0.00	0.00	38.42	0.00
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
	アンチモン及びその化合物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
茨城電線工場	キシレン	2.23	0.00	0.00	0.00	0.00
	トルエン	2.26	0.00	0.00	0.00	0.00
	ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル	0.00	0.00	0.00	0.27	0.00
	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
御園事業所	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	0.00	0.00	0.00	0.02	0.00
	鉛及びその化合物	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00

### グループ会社

東北住電装 二戸	鉛及びその化合物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
東洋ハーネス亀山	トルエン	0.63	0.00	0.00	0.45	0.00
	キシレン	0.51	0.00	0.00	0.37	0.00
北陸ハーネス高岡	アンチモン及びその化合物	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00
山形住電装	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	0.00	0.00	0.00	0.16	0.00
	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	0.00	0.00	0.00	0.37	0.00
協立ハイパーツ	エチレングリコール	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00
	トルエン	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00
住電装プラテック	フタル酸ジ-n-ブチル	0.00	0.00	0.00	0.12	0.00

PRTR: Pollutant Release & Transfer Register

1999年7月に制定された「特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律」





# グループ会社の環境保全への取組

## ◆ 東北住電装株式会社

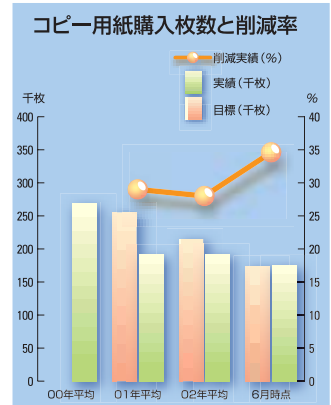
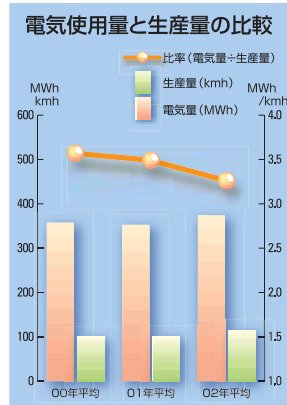
東北住電装株式会社は岩手県内に4ヶ所の事業所を有し、住友電装グループの国内関係会社の中で最も北に位置します。2001年にISO14001の認証を取得いたしました。EMS活動は今年で3年目となります。

この3年間、まずは身近なところでの環境負荷の低減＝エネルギーの削減や廃棄物量の削減・リサイクル化といった基本的な項目を中心に努力して参りました。

全員が協力し、日頃からのこまめな省エネや無駄をなくす活動の継続により、同じ生産量をあげるために要するエネルギーや不要物の量は着実に減ってきております。

また、2002年10月に開催した環境展では、地元からもご参加いただくなど地域の方々とのコミュニケーションも進めております。

自動車リサイクル法の施行を間近にひかえ、より環境負荷の少ないワイヤーハーネスの研究・開発を進めることは部品メーカーとしての使命であり、その住友電装グループの一翼として、これからも環境負荷の低減に努めて参ります。



環境展

## ◆ 山形住電装株式会社

山形住電装株式会社は環境保全活動の継続的改善を図っていくことが企業としても重要課題の一つと受け止め、また地域社会の一員として環境保全に貢献出来るよう行動しています。

2002年には、「環境展」を開催し、近隣の工業団地の企業、住民、取引業者、県・市行政、マスコミ等にも多数ご来社いただき、当社の取り組み事例を紹介させていただきました。また、毎年定例的に会社敷地周辺の美化活動の一つとして清掃活動を会社経営者をはじめ従業員でボランティアで参加しております。

2003年6月12日、山形県より「環境保全推進賞」を受賞しました。この賞は山形県環境保全協会の理念目的を推進する一環として、県内の企業、その従業員の方々の先駆的な環境保全への取り組みを顕彰するもので、今年度は5社が受賞し、当社もその1社に選ばれました。当社は、地道な活動の積み重ねによる環境保全活動や環境美化活動の実施等が評価されました。

03年度の重点課題の一つとして「ゼロエミッション（埋立物廃棄物ゼロ）」をとり上げています。昨年サーマルリサイクル出来る処理業者に切替え、埋立率50%から1.9%へと飛躍的に低減することが出来、更に処理費用も低減出来ました。継続して残りの埋立廃棄物をリサイクル処理に切替えるように取組んでいます。もう一つは、コンプレッサーの使用電力低減に取り組んでいます。

最後に、環境保全活動は遠い将来まで地球を守る重要な課題であり、また会社経営にもプラス面で貢献出来ることと信じて地道に努力して参りたいと思います。



環境美化活動



環境保全推進賞受賞



## 北陸ハーネス株式会社

北陸ハーネス株式会社は、石川県を中心にワイヤーハーネス生産を行なっています。その生産拠点の中心は美しい海や山が今も残る能登半島にあり、地球環境保全を理念とするISO14001活動は、当社にとって使命感をもって取り組める活動であります。

当社は、2000年11月に認証を取得して以来「すぐできる」ことから様々な活動を行なっていますが、2002年度の取り組みとしては、以下のリサイクル化の促進があげられます。

- ① 廃プラスチック類のリサイクル化  
廃プラスチック類を製鉄所の高炉原料としてリサイクルする廃棄物処理へ変更
  - ② 廃却図板のリサイクル化  
モデルチェンジの際に発生する旧モデル生産用の図板(合板)を粉碎し牧草地の土壌としてリサイクルする廃棄物処理への変更
  - ③ 廃蛍光灯のリサイクル化  
廃蛍光灯を分解し、水銀、ガラス屑、金属屑をリサイクルする廃棄物処理への変更
- ここにあげた新規契約の廃棄物業者の発掘については、当社ISO14001活動の推進役である分科会事務局の地道な情報収集が結実

したもので、彼らの弛まぬ努力が従業員に次第に環境保全の輪を広げ、現在、全員が環境保全活動の重要性を深く認識しています。

現在、「ゼロエミッション(埋立廃棄物ゼロ)」、「環境経営度向上」を目指すというのが我々へのミッションです。今後も従業員全員が一丸となって目標達成にチャレンジを続け、我々の時代が後世に悪影響を及ぼさないよう改善を継続します。

廃却図板の処理



不要図板：解体前



解体後



破砕された木くず(チップ)は牧場・養鶏場へ運ばれ床に散布する。消臭効果があると同時に、翌年には牧草の肥料となります。

## 東洋ハーネス株式会社

当社は1999年10月から本格的な環境保全活動を推進し、2000年11月にISO14001の認証を取得し、それ以降も継続的に活動を続けてまいりました。

特に最近では、環境保全活動の柱としてゼロエミッション達成を目指し、TPS\*1活動の推進による余剰廃却の削減、部品トレーのリターンナブル化・ダンボールレス化、廃棄物の分別徹底によるサーマル・マテリアルリサイクル化を図っています。その活動の中で、廃蛍光灯管の処理についても処理業者を変更し、新しいルールを作成しリサイクルを開始いたしました。今年度中にはゼロエミッションを達成したいと考えております。

省エネ活動については、本社管理棟にエアコンの省エネタイマーを設置し、実績収集を始め、今後、他工場への導入も検討していきたいと考えています。また、コンプレッサーの能力診断を一部実施し、それにとまなう改善を行い電力量の削減に努めています。

さらに今年度は新宮工場において、当社では2度目の環境展を実施し、従業員への啓蒙はもとより、地元自治体、諸団体にも当社の活動を広くアピールすることが出来ました。

これからも確実に環境保全活動を継続していきたいと考えています。

\*1 TPS：トータルプロダクションシステム



会場の様子



会場

## 九州住電装株式会社

九州住電装株式会社は、本社・大分工場を大分県日田市に、熊本工場を熊本県菊池市に、そして2003年4月に合併しました島根工場(旧中国ハーネス)は島根県大原郡に位置し、いずれの工場も自然に恵まれた環境下で自動車のワイヤーハーネスを中心に生産をしています。

2000年11月に環境ISO14001の認証を取得し、電力使用量の削減、廃棄物の減少、製造ロスの削減、更には紙類の購入量削減などハード・ソフト面を強化し、全社一丸となって環境活動を推進しております。本社・大分工場が位置する日田市は市町村自治体の中では全国で3番目に環境ISO14001の認証を取得しており、市の廃棄物分別に従い、弊社は徹底した分別管理を行なっております。

更に、本社・大分工場では弊社のオリジナルシステム(バーコードリーダーとパソコン)を駆使し、廃棄物の分別計量集計システム(熊本工場も本システムを導入済)にてデータの管理を行なっており、02年4月より排出された廃プラスチックは、サーマルリサイクルとマテリアルリサイクルにて、ゼロエミッション(埋立廃棄物ゼロ)を達

成いたしました。

熊本工場や島根工場においても、地域の特性を生かし、早期にゼロエミッション(埋立廃棄物ゼロ)の達成に向け、継続的改善を進めております。

### 廃棄物の分別計量集計システム



排出部門のバーコードを読み取り中



計量結果の表示状態

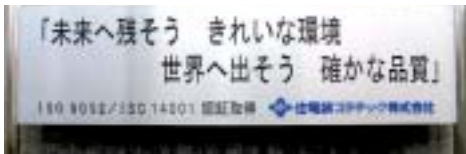
## 住電装フ。ラテック株式会社

住電装フ。ラテック株式会社はコネクタを中心とした自動車用の電装部品を生産しています。

周囲には霊峰富士を始め、数々の自然に恵まれています。その中で事業を展開しており、環境活動は最重要課題のひとつであります。このような背景から今年度より新たな中期計画を策定し重点施策として取組み、人や環境に優しく地域に愛される企業を目指しています。

### 《重点施策》

1. 廃棄物の抑制（ゼロエミッションの達成）  
 工程内での再利用並びに分別方法の変更等により昨年より1ポイントUPのリサイクル率99%超を達成いたしました。今年度中にゼロエミッションを達成すべく邁進中です。
2. 地域との共存、共栄  
 廃棄物の抑制、騒音・振動への配慮もさる事ながら奉仕活動のひとつとしてピカピカ運動を外部に展開し綺麗で住み良い街づくりに寄与したいと思います。



## 協立ハイパーツ株式会社

協立ハイパーツ株式会社は、本社を埼玉県に立地し、自然環境に恵まれた九州、東北およびフィリピンに生産拠点を有し、ハーネスをはじめ端子、コネクタ等部品の製造を行っております。

海外を含め全てのサイトで環境保全を推進すべく、環境保全の仕組みや体制を構築する手段として、ISO14001の導入を決意しました。まず本社と岩手地区のサイトで2003年1月にキックオフし12月の認証取得を目差し活動を推進しております。

2002年7月に住友電装グループ入りし、さらに活動を促進し

- ・廃棄物の発生抑制と埋め立てゼロ化
- ・電気エネルギーを中心とした省エネルギー化
- ・天災・事故等を想定した、緊急事態への対応

などの改善を行い、短期間で埋め立て量の大幅削減とリサイクル率の向上をさせることができました。埋め立て率は4月26.6%→7月4.6%に減少、リサイクル率は、4月68.3%→7月92.4%に向上しました。

環境マネジメントシステムで大切なことは、一人ひとりの環境に対する意識と行動です。仕組みを作っても人の意識が変わり行動が変わらなければ、環境マネジメントシステムは機能しません。

従業員に対し環境保全の意識を育て、自ら立てた目標を達成していくことで、環境に対する負の影響を更に少なくしてまいります。

### EMS活動報告

#### ① 廃棄物管理



- 色別にして分別の徹底  
 (青)→硬質ゴミBOX  
 (赤)→硬質ゴミBOX  
 (緑)→硬質ゴミBOX



- 紙リサイクル回収BOX  
 両面使用済みメモ紙・色紙等
- 一般廃棄物BOX  
 床の清掃時に出るゴミやボックス等



- 廃棄物の分別方法  
 一覧表にし各掛の回収BOX場所に掲示

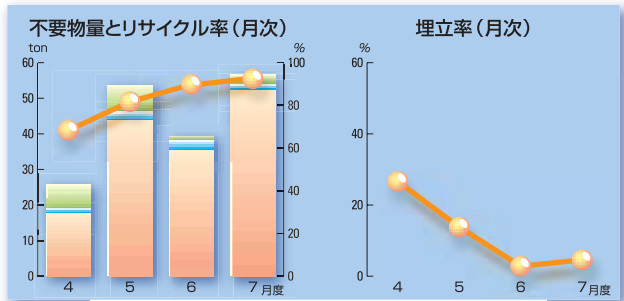
### リサイクル紙

- 表示 (縦4.5cm 横9.5cm)  
 回収後のリサイクル紙を箱に入れ出す際に表示を貼り回収場に置く

#### 【その他】

- ・購入品の空き箱等は、購入先業者へ回収依頼
- ・個人購入品(食品等)のゴミは、持ち帰り徹底指導
- ・各掛で出されるゴミ袋に掛名を表示し責任を持って分別

#### ② ピカピカ運動(外部清掃活動)



不要物の分別厳守確認



コンプレッサードレンの点検作業



全従業員による周辺美化活動



## 教育・啓発活動

「全員参加のエコ活動」をスローガンに経営者から新入社員まで、一人ひとりが環境問題を認識し、社員全員で環境保全に取り組んでいくことが大切です。

また環境保全は、継続的かつ繰り返しによる取り組みが必要で、意識向上の為に教育が必要との考えから、次の様な教育・啓発プログラムを行っています。

教育名	対象者	教育の内容
新入社員導入教育	新入社員	環境に関する一般教育
一般教育 (リフレッシュ教育)	一般社員 中堅社員 昇進社員	環境保全活動の実際 運用管理を重点とした環境保全活動 当社環境保全活動の状況と管理職の役割
内部環境監査員養成教育	上長推薦者	ISO14001規格内容と監査技術
環境講演会	経営層・管理職・ 一般社員	環境先進企業等の環境取組事例等



環境講演会

## 啓発・広報

環境問題に対する企業ポリシーの浸透や社員一人ひとりの環境意識を高める機会として、さまざまな出版やイベントの開催を定期的に行っていくことが大切です。事例の紹介なども併せて、社内へ向けて多彩な年間スケジュールを組んでいます。



社報「ぴーぶる」の掲載

### (1) 社報・電子メールの活用

- ①社報「ぴーぶる」への定期的な掲載  
月間の取り組み、トピックス等
- ②環境ニュースを発行  
省エネ事例、廃棄物削減事例紹介等
- ③環境ポスター掲示

### (2) 環境展

- 住友電装4サイトで開催
- グループ会社で開催
- 東洋ハーネス新宮工場（6月）



環境ニュースの発行



環境展



社内環境展  
環境展



## 社会貢献活動

地域社会との共生を基本姿勢にボランティア活動・地球環境保全活動を行って地域社会に貢献しています。

### 地域とのコミュニケーション

- (1) 工場周辺の清掃活動を実施
- (2) 環境NPO支援
  - ①ネパール植樹
  - ②阿瀬知川浄化
- (3) 県及び団体の各種活動に参画
  - ①三重県「企業環境ネットワークみえ」  
－「こどもかんきょう体験フェア2003」に出展  
－三重県型CO<sub>2</sub>排出量取引制度提案事業に参画
  - ②環境パートナーシップ・CLUB(略称:EPOC)
- (4) 工場見学受入  
ネパールからの子供たちと先生
- (5) 社外での講演活動
- (6) 近鉄線ホームヘリサイクルボックス提供



美化運動



阿瀬知川浄化



ネパール植樹



工場見学受入 ネパールからの子供たちと先生





こどもかんきょう体感フェア2003



三重県型CO2排出量取引制度提案事業に参画



三重県環境事業団で講演



近鉄線ホーム リサイクルボックス



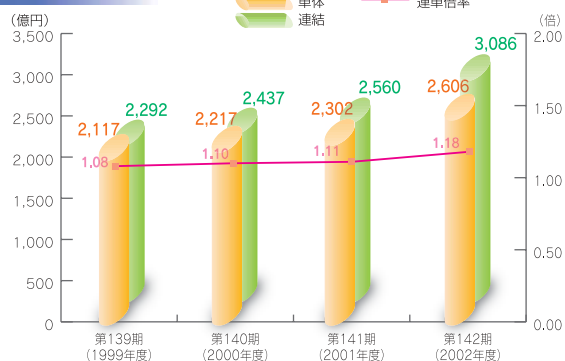
# 環境取組の歴史

	環境取組の歴史	環境社会史
1970年代	省エネ活動を開始	日本で海洋汚染防止法制定 国連人間環境会議(70) 国連環境計画設立(72)
1980年代	鈴鹿製作所：第一種「エネルギー管理指定工場」(中部通商産業局) 大阪事業所：通産局長賞を受賞 鈴鹿製作所：「中部通商産業局長表彰」省エネルギー公害防止委員会を設置 全社フロン対策委員会を設置	第1回ナショナルトラスト・シンポジウム日本開催(82) 世界湖沼環境会議、日本で開催(84) オゾン層保護に関するウィーン条約締結(85) パリ宣言採択～森林保全(86)
1990年代		日本の第1回ごみ減量化促進対策全国大会開催(90) 巨大温室「バイオスフェア2」実験スタート(91)
1992	鈴鹿製作所：資源エネルギー庁長官賞受賞	地球サミット開催
1993	環境管理室を発足	
1994	トリクロロエチレンの使用全廃(鈴鹿) 特定フロン、トリクロロエタンを全廃 構内用に「電気自動車」使用	JR東日本山手線全36駅でごみ分別収集開始
1995	環境理念の制定 高度配線化システムSATNET開発販売に向け一般建築業の三重県知事認可を取得	「こどもエコクラブ」発足
1996		ISO14001シリーズスタート
1997	鉛フリー電線の実用化 鈴鹿製作所でISO14001認証取得	環境アセスメント法成立
1998	自動車用ハロゲンフリー電線開発 鈴鹿製作所に電波実験棟完成	NPO法施行 家電リサイクル法成立
1999	廃棄物計量システムの構築 四日市本社地区でISO14001認証取得	ダイオキシン法成立
2000	四日市物流センター拡大認証取得 東洋ハーネス、北陸ハーネス、九州住電装取得 第1回社内環境展 茨城、御園事業所拡大認証取得 住電装プラテック取得 結城・狭山・物流センター等でISO14001認証取得	ドイツハノーバー博覧会
2001	中国ハーネス、山形住電装、東北住電装で拡大認証取得 EPOC中小企業環境セミナー in 三重で講演 三重環境フェア2001に出展 「PCB使用安定器を用いた照明器具」を全て交換 鈴鹿市「ごみ減量推進事業所」に認定 環境報告書(初回)発行 鈴鹿エコクラブ「鈴鹿工業クラブ」の改善事例発表会で報告	交通システムにETCを導入
2002	ハロゲンフリーワイヤーハーネス開発製品化 三重環境フェア2002に出展 第2回 社内環境展開催 PRTRによる環境負荷物質の届出 三重県のCO2排出権取引の模擬実験に参加 東北住電装、山形住電装で環境展開催	自動車NOx・PM法車種規制、運行管理計画提出等施行 三重県産業廃棄物税条例施行 「気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書」を締結
2003	易解体ハーネスの開発製品化 住友電装本社など11サイトでゼロエミッション達成 山形住電装が山形県環境保全推進賞を受賞	土壌汚染対策法施行 EU ELV指令(耐用年数に達した車両に関する指令)施行

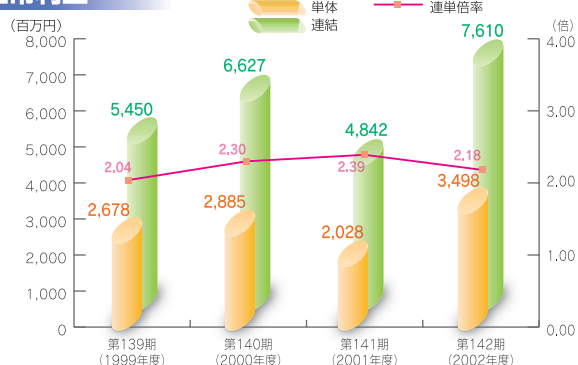
# 会社概要

商号 住友電装株式会社  
 事業の内容 ワイヤーハーネス並びに電線類の製造販売  
 設立 大正6年12月  
 資本金 5,034,280,510円(2003年3月31日現在)  
 従業員数 3,064名(2003年3月31日現在)  
 (注) 他会社への出向者(1,392名)を除いています。  
 本社 〒510-8503 三重県四日市市西末広町1番14号

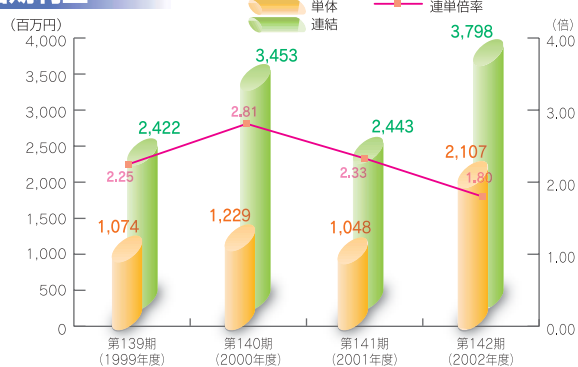
## 売上高



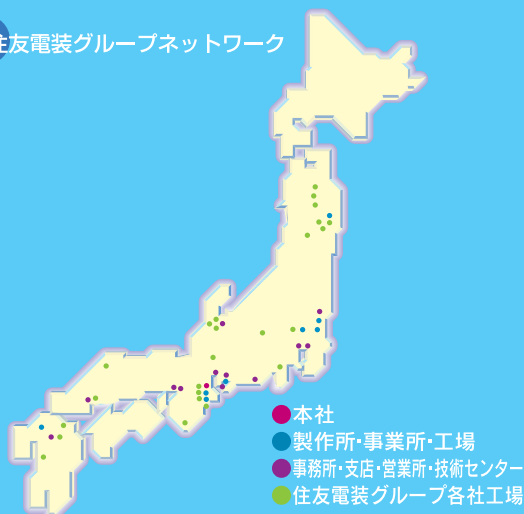
## 経常利益



## 当期利益



## 住友電装グループネットワーク



## 海外ネットワーク



Environmental Report  
2003



**発行責任者**

住友電装株式会社 環境管理部長 杉谷 知幸

**お問い合わせ先**

本報告書についてのご意見ご質問は下記までご連絡下さい。  
住友電装株式会社 環境管理部 (担当:四日市グループ 三輪信吉)  
TEL:0593-54-6374 FAX:0593-54-6424  
この報告書の内容はインターネットでもご覧いただけます

ホームページ : <http://www.sws.co.jp/>



この印刷物は環境に配慮した、古紙100%再生紙と植物性大豆油インキを使用しています。